

Z世代の大学生へみどり戦略等をPRし、自分ごとに変換

宮崎産業経営大学経営学部学生に対し、みどりの食料システム戦略や食料・農業・農村基本法の見直しを説明し、持続可能な食料システムの達成について自分ごとにしてもらう。

○ 施策分類

みどりの食料システム戦略

○ きっかけ・背景、課題の把握

宮崎産業経営大学が取り組む、農業を核にした地域活性化を目指す地域研究コンテストの報道をきっかけとして、担当教授と意見交換。経営学部ゼミ学生を対象に出前講義を実施することとなり、コンテスト参加学生も参加してもらうよう依頼。

○ 取組の内容

出前講義(意見交換)は、令和5年11月27日にゼミの1コマで行うこととなり、担当教授と講義内容や意見交換の意図を事前に打ち合わせ。

意見交換の資料を事前に教授から配布してもらい、参加学生から自分ごととして質問や意見を引き出すため、意見交換の主旨等を周知。

当日は「食料・農業・農村基本法の見直し」「みどりの食料システム戦略」などについて地方参事官が講義し、意見交換を行った。学生からは、「有機農業」「AIの農業活用」「農産物の価格形成」「若者の就農」などについて活発な意見が出された。

○ 効果・成果、今後の方向性

アンケートで「担い手不足の現状が分かった」、「農業について消費者の理解が必要」など、研究課題解決の気づきや自分ごととして捉えた回答があり、今後も同大学への出前講義を実施予定。

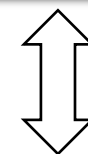


講義後の意見交換の様子

体制図

宮崎県拠点

- ・みどり戦略の理解促進
- ・将来への行動変容を促す



学生への説明内容や役割分担について協議

大学生

宮崎産業経営大学経営学部

- ・研究機関としてのアプローチ
- ・教育機関としてのアプローチ